

■決算総会 会長あいさつ

本日は公私何かとお忙しい中、平成10年度PTA決算総会にご出席いただきましてありがとうございます。

みなさまがたのご理解、ご支援により、平成10年度PTA活動も無事終えようとしております。

厚く御礼申し上げます。

活動等の報告につきましては、担当の役員より、このあと説明させていただきますが、概略的なことをお話させていただきたいと思います。

この1年、私たちは「できることは、がんばってやろう」を合い言葉にPTA活動を進めてまいりました。

実行委員や常置委員のみなさんが一丸となり、「できることは、がんばってやろう」の言葉通りに活動することができましたし、また上福島小学校やPTAを支えるみなさまがたの底力を感じ取ることができました。

ほんとうにありがとうございました。

しかし、昨年の決算総会でもお話ししましたが、PTAの現状として、会員世帯の減少、それに伴う人材不足が大きな課題となってきています。

そのひとつとして、毎年役員、実行委員の選出が難しくなっています。

現在、会員世帯数80弱、そして、役員、実行委員、常置委員の人数57名と、8割近くのみなさんにPTAのスタッフとして関わっていただいております。

これからもわかるようには、今年やったから来年はしなくても良いということにもなりません。

また、お願いにあがっても、いろいろなご事情があり、お引き受けいただけない方も僅かではあります、いらっしゃいます。

そのために人選に不公平がみられるとの、言葉も頂いております。

このことから考えますと、「誰もが担えるPTA」への変身が急務なってきています。

そのためには、慣習や既成概念にとらわれない気持ちが必要です。

小学校、PTAとも伝統がありますが、時代が変わり、PTA会員の考え方も多様化する中ではやむをえないことだと思えます。

新年度へバトンタッチを前に、3年前より検討してまいりました、PTA活動見直しのひと区切りとして、まず常置委員活動に手を加え、「誰もが担えるPTA」への一步目を踏み出していきたいと、PTA規約を改定することといたしました。

今後においても、活動の見直しは必要であり、引継事項のひとつとして揚げておきたいと思っています。

最後になりましたが、地域や、地域諸団体のみなさまがたには、P T A活動におきましても、何かとご支援、ご協力いただきましてありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

以上、平成10年度P T A活動を簡単にまとめ、ご挨拶といたします。